



まさかず
かくま正一通信
(No.25)

ごあいさつ



皆様こんにちは。冬から春に季節の移ろいの時を迎えました。平素より温かいご指導とご支援を賜り心から厚くお礼申し上げます。

県議会は今、平成26年度県予算の審議中であります。新年度予算は、対前年2.2%増の積極型予算となっています（4頁参照）。私は、3月17日に予算特別委員会で質問いたします（2頁参照）。

さて、私は、平成25年度の1年間、①教師の指導力の向上と領土教育の充実、②防災対策や利便性向上のため社会資本の整備、③並行在来線対策、④医師・看護師・福祉人材の確保、⑤中小企業、農林水産業の振興等に力一杯取り組んできました。一定の成果はありましたが、まだまだ努力しなければなりません。

平成26年度は、任期最後の1年となります。より良きふるさと、より良き富山県を目指して懸命に働く決意です。何卒、皆様のご指導と叱咤激励を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げましてごあいさつといたします。

平成26年3月吉日

富山県議会議員

鹿熊 正一

○平成25年度2月補正予算の箇所付けが発表されましたのでお知らせいたします。（朝日町・入善町管内分）

《土木関係》

- ・県道入善朝日線（入善町藤原～朝日町草野） — 道路バイパス工事
- ・県道黒部朝日公園線（入善町野中） — 歩道設置工事
- ・山崎泊線 上小川橋ほか — 橋梁耐震補強工事
- ・境海岸 — 緩傾斜護岸工事
- ・朝日海岸（元屋敷） — 護岸工事

《農林水産部関係》

- ・ 県営ほ場整備交付金事業 — 朝日町舟川新の区画整理
- ・ 漁港漁場整備事業 — 入善漁港の岸壁補修
- ・ 復旧治山事業 — 朝日町宇津谷の谷止工

○予算特別委員会での質問項目（3月17日）

- 1) 教育委員会制度の改革について
[ポイント] 地方教育行政の最終責任者、教育の政治的中立性や継続性の確保
- 2) 人材の県外流出の抑止について
[ポイント] 富山県の人口転出超過が増えた要因と対策
- 3) 医療福祉人材の育成確保について
[ポイント] 県東部に福祉系高校の設置、新川医療圏に看護師養成機関の設置、再生医療への支援
- 4) グリーンツーリズムについて
[ポイント] NPO法人グリーンツーリズムとやまに対する支援策と定住・半定住の推進
- 5) 県庁女性職員の管理職への登用について
- 6) 食品衛生強化に向け、富山県版HACCPの導入について

(質問及び答弁の詳細は、富山県議会ホームページをご参照下さい)

『かくま正一通信 (No24)』以後の私の活動の一端を報告いたします。
皆様からご意見やご提言をお寄せ頂ければ幸いです。

平成26年度県予算の折衝

(2月4日) 自民党議員会は、平成26年度県予算について、石井知事と折衝を行った。

折衝のベースは、25年11月28日に、知事に



提出した予算要望書である。折衝の結果、①概ね、要望の趣旨に沿った予算が組まれていることを確認した。

②主要県単独事業予算については、知事提示額139億7,000万円に対し、7億円上積みし、146億7,000万円が決着した。道路や河川整備、信号機新設、高校の施設改修等がより進むこととなる。

この折衝により予算の骨格は固まった。今後さらに精査され、2月中旬に知事の予算発表となる。新年度予算が、県民に、安心と希望、そして挑戦心を持って頂ける予算であることを切に願う。

第1回「ベアもん」の集い開催

(2月15日) 朝日町後援会女性部の集いを「ベアもん」の集いと称して、なないろKANで開催した。「ベアもん」は、鹿熊の熊=ベアにちなんで名付けられた。熊本県の「○○

もん」同様によろしくお願ひします。

最初に、私から県政報告をし、次に、朝日町商工会青年部の岩田幸一郎君から「まめなけ市場」の取り組みの報告をし、その後意見交換会を行った。

参加された皆さんから、グリーンツーリズムの取り組みや特産物の販路拡大への支援、公共バス路線の増加、町の企業の父兄へのPRの場づくりの必要性、領土教育の在り方、並行在来線駅の運営の在り方等、様々な意見が寄せられ、有意義であり勉強になった。「ベアもん」の集いNO.2の開催が楽しみだ。



自民党員30,000人を目指して

(2月22日) 自民党県連は、支部長・幹事長・政調会長・事務局長会議を開催し、自民党員を現在の2割アップし、30,000人を目指すこ

とについて協議し同意を頂いた。私は、県連副会長として、閉会のあいさつの中で「30,000人を目指すことに同



意を頂き感謝します。ただ、有権者の自民党に対する信頼なくしては為し得ないことである。国会議員はじめ政治家は、心して、現在の様々な課題—TPP問題、エネルギー問

題、消費税増税の中での地方景気の回復、社会保障など—に対し、きちんと結果を残さねばならない。正念場だ」という点を強調した。

トピックス

○元気が出る雑煮祭り

2月1日、みな穂農協が主催して、「第6回ふれあい雑煮祭り」が開催され、大変な賑わいであった。食をテーマにした催しは各地で行われているが、地元の各種の雑煮を、一堂に提供するような催しは珍しいと思う。

朝日町、入善町から6つのグループがそれぞれ地場の食材を使用した特色ある雑煮を提供しておられた。全部食してみたかったが、2種類の雑煮を美味しく頂いて満腹となり、次回を楽しみとすることにした。

また、今回はじめて、朝日町有害鳥獣協議会の皆さんが「しし鍋」を提供された。来場された皆さんから好評を博しておられた。

冬の日を、雑煮でふれあい楽しみ、お互い元気が出る、とても良いイベントであると思う。企画準備されたスタッフの皆さんや参加されたグループの皆さんに感謝です。



○議会ミニコンサート

平成26年度県予算を審議する2月県議会が、2月26日開会した。一般会計予算5,572億円余の予算案であり、対前年2.2%増の積極予算である。ところで、2月議会の初日に、県議会芸術文化クラブが企画して、ミニコンサートを県議会棟の正面ホールで行っている。14回目の今回は、お馴染みの「楽屋姫」の出演。シンガー英樹の巧みな語りと持ち前の歌声で、楽しい緊張の解けるひと時であった。



○鹿熊正一 現在の主な役職（平成26年3月1日現在）

- ・自民党富山県議会議員会長 ・自民党富山県連副会長
- ・新川地域推進協議会長（新川2市2町の県議、首長、議会議長で構成）
- ・県東部地域産業活性化議員協議会長 ・下新川海岸整備事業促進議員連盟会長
- ・自民党朝日町支部長

《所属委員会》

- ・教育警務委員会 ・新幹線総合交通対策特別委員会

《自民党所属部会・調査会》

- ・医療問題調査会（会長） ・危機管理防災対策等調査会（会長）
- ・福祉環境部会 ・農業問題調査会 ・水産問題調査会

《所属議員連盟》

- ・山村振興議員連盟 ・スポーツ振興議員連盟 ・観光振興議員連盟 ・MOA議員連盟
- ・日中友好議員連盟 ・日韓友好議員連盟

《その他》

- ・富山県食品衛生協会会長 ・富山県消防協会副会長 ・朝日町土地改良区理事長
- ・朝日町消防団長 ・朝日町サッカー協会会長

平成26年度富山県一般会計予算 (ポイント)

予算総額 5,572億66百万円 (H25 5,450億62百万円、+2.2%)

○ 北陸新幹線開業を活かし新たな飛躍へ

◆北陸新幹線開業直前対策枠 (20.2億円 H2510.4億円)

- 観光振興と誘客・交流の促進
 - ・「とやま Week in 東京 2015」や「ふるさと祭り東京 2015」への出展など首都圏での集中PR
 - ・JRとタイアップした商品造成・広告、「鉄軌道王国とやま」の全国発信、首都圏でのミニ番組放映
 - ・北陸デスティネーションキャンペーン実施準備や富岩水上ライン新艇整備など、受入体制の整備促進 など
- 産業と地域の活性化
 - ・首都圏展示会への共同出展や商店街の活性化事業の実施、テクノホール増築に係る設計
 - ・「とやまの食」「富山のさかな」の首都圏PR、とやまの農林水産品のブラッシュアップ など
- 二次交通の整備・充実、基盤整備等
 - ・「あいの風とやま鉄道」の開業支援、接続新駅の設置支援、定期観光バスの定着支援 など
 - 〔関連事業〕県民会館の耐震化・機能充実、近代美術館の移転新築、(仮称)富山北警察署の新築整備
- おもてなし力の向上、県民・企業、NPO等との協働事業の展開
 - ・新幹線開業カウントダウンイベントや新幹線駅構内・周辺花いっぱいおもてなし事業の実施 など

◆陸・海・空の交通基盤の整備等

- ◇公共・直轄：572.2億円 (H25当初 562.8億円、+1.7%)
- ◇主要 県単：135.7億円 (H25当初 135.4億円、+0.2%)
- ・能越自動車道、国道8号入善黒部バイパス等の整備 など
- ・新幹線新駅等へのアクセス道路の整備、伏木富山港の機能向上 など
- ・農業基盤整備、小水力発電施設の整備、林道の整備 など

★国補正予算の活用

- H25.2月補正 (公共事業) 計 81億円
- 防災・減災事業の推進、社会資本整備等

○未来とやま成長戦略枠 (10.5億円：産業の競争力強化とグローバル人材・ものづくり人材の育成)

- ものづくり産業の振興
 - ・ものづくり研究開発センターを中心にした新製品・新技術の創出や試作品開発の支援
 - ・新たな成長産業への進出支援、産学官連携による医薬品開発研究の推進 など
 - 〔関連事業〕設備投資促進資金「集中投資促進枠」の拡充 (新規融資枠H2510億円→H2630億円)
- 農林水産業の振興
 - ・「とやま農業未来カレッジ (仮称)」の開設準備、担い手への農地集積・集約化の推進 など
- グローバル人材・ものづくり人材の育成
 - ・確かな学力と豊かな教師力の向上対策、高度ものづくりマネジメント研修事業の実施 など

○新・元気とやま創造計画枠 (25.5億円：「新・元気富山創造計画」の政策目標を積極推進)

5
つ
の
重
点
戦
略

- ★グローバル競争を勝ち抜く環日本海・アジア戦略(ものづくり産業の高度化、海外ビジネスの展開支援 等)
- ★少子高齢化・人口減少社会における活力創造戦略 (女性、高齢者が活躍できる環境づくり 等)
- ★災害に強い「日本一の安全・安心県」戦略 (防災・減災のための体制づくり、災害に強い県土づくり等)
- ★環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」戦略 (循環型・低炭素社会づくりの推進 等)
- ★いつまでも、みんな元気「健康先進県」戦略 (健康づくりの推進、がん予防の推進 等)

重
政
策
要
策

- 人づくり
将来を担う人材の基礎づくり、成長と自立、社会参加・社会貢献の促進、能力を発揮できる環境づくり 等

熊正会からお知らせ

熊正会は鹿熊正一県議を資金面で支援する資金管理団体です。鹿熊県議の政治活動並びに後援会活動が一層充実し活発になりますよう皆様の温かいご支援を心からお願い申し上げます。年会費は、個人、法人とも一口5,000円からです。お問い合わせ等は鹿熊正一事務所までご連絡下さい。

かくま正一通信 (No.25)

発行日 平成26年3月
 発行者 熊正会・自由民主党富山県議会議員会
 事務所 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保1173-1 TEL 0765-82-1333 FAX 0765-82-2113
 正一メールアドレス masakazu@kakuma.net

「かくま正一通信」は資源保護のため再生紙を使用しています。